

調達案件番号 010001001020190170

調達案件名称 (特定調達)道場三室線2工区(仮称)西堀日向トンネル築造工事

入札方式 一般競争入札(標準)

管理番号 000007

題名 質問書

質問 1

工事着手時における、家屋調査状況をご教示ください。

近接する家屋調査については、実施済となっております。

また、新たに家屋調査が必要となった場合は、協議するものと考えております。

質問 2

特記仕様書において、家屋調査費が計上されておりませんが、発生した場合は別途協議と考えてよろしいでしょうか。

上記の質問 1 をもって、回答とさせていただきます。

質問 3

施工において、近隣住民からの要望等ございましたら、ご教示ください。

主な要望として、本工事の作業時間帯は、9:00～17:00 とし、土曜・日曜・祝日を休日とし、早朝・夜間の現場での作業は、原則として行わない。

また、常に騒音や振動等に配慮するように求められています。

質問 4

現場周辺に存在する埋設管（瓦斯管以外）の種類と企業者との協議状況をご教示ください。

大久保浄水場送水管（県水）

…工事起点～県道大谷本郷さいたま線：本線南側施工完了済

※県道大谷本郷さいたま線に旧管が存置

NTT …県道大谷本郷さいたま線：本工事にて添架にて対応（図面番号 356 参照）

添架について、協議済。施工着手時に再協議を行う。

水道…県道大谷本郷さいたま線：本工事にて添架にて対応（図面番号 356 参照）

添架について、協議済。施工着手時に再協議を行う。

下水…C-56 号線：本工事の掘削作業に撤去

質問 5

特記仕様書の函渠工・U型擁壁工において、U型擁壁 U1～U4，函渠部 B1、B2 の範囲にある埋設管等の種類と企業者との協議状況をご教示ください。

函渠工・U型擁壁工（U型擁壁 U1～U4，函渠部 B1～B8）R側に大久保浄水場送水管（県水）

が埋設されています。都市計画道路道場三室線の事業に伴い過年度移設されたもので、本工事としての協議については、行っておりません。

質問 6

一般県道大谷本郷・さいたま線部、施工範囲内において、電柱（日向支 16 札ノ辻 174）～電柱（日向支 18 土合小 216）間にある架空線について施工時の状態をご教示ください。

一般県道大谷本郷さいたま線部の施工範囲内における、電柱（日向支 16 札ノ辻 174）～電柱（日向支 18 土合小 276）間にある架空線については移設依頼をおこなっております。施工着手時には、切回し又は、埋設するとの回答を事業者より頂いております。

質問 7

一般県道大谷本郷・さいたま線部の作業制約についてご教示ください。（昼間の作業規制帯設置の可不可等）

交通管理者との協議は、工事契約後に行う予定です。

通常的安全対策・規制対策を行うことで、交通管理者からの制約はないものと考えております。

質問 8

仮設電気の受電位置・容量の協議状況についてご教示ください。

仮設電気の受電位置・容量における協議は行っておりません。

質問 9

仮設排水の位置・接続下水管等の協議状況についてご教示ください。

仮設排水の位置・接続下水管における協議は行っておりません。

質問 10

特記仕様書における土工（掘削工、作業土工）について、「作業土工（地下水位以下）については・・・」と記載があります。想定している地下水位の高さをご提示お願いします。

地下水位の高さについては、設計図面に記載されている地下水位を参考にしてください。

質問 11

重力式擁壁工について、重力式擁壁の継目工が計上されておりませんが、別途協議と考えるよろしいでしょうか。

工事仕様書 第 43 号内訳書の重力式擁壁について、施工パッケージ型積算を使用しており、継ぎ目工は含まれています。

質問 12

設計図面 No. 347, 348 の場所打函渠工において、図面の盛替え計画では、壁・スラブの鉄筋が切梁・腹起しに支障し、鉄筋の組立が出来ません。盛替計画、配筋図の変更は別途協議と考えるよろしいでしょうか。

記載されているとおり、本工事契約後に受注者と協議と考えております。

質問 13

施工エリア内に未取得地はありますか。

現在の状況として、No. 42 の L 側の一部（約 17m²）が未取得地となっております。尚、年内に取得予定となっております。

質問 14

設計図面 No. 331 の立体交差仮設工について、No. 33 から起点側において、土留鋼矢板及び中間杭の先端深さが他より約 7m 深くなっています。その理由について、ご教示ください。

No. 33+10 付近より起点側は As 層が確認されていますが、終点側は As 層が確認されておりません。そのため、No. 33+10 より起点側は相対的に鋼矢板及び中間杭が長くなっています。

鋼矢板の先端は、止水を目的に、不透水層である Dc2 層に根入れしています。

中間杭の先端は、支持層である Ds3 層へ 2m 以上根入れするように設定しています。

質問 1 5

設計図面 No. 370 の C-56 号線 仮橋工において、支持杭先端深さが床付け高さより約 9m 深くなっています。その理由について、ご教示ください。

C-56 号線仮橋は近傍である No. 4 ボーリング (No. 32+10 付近) を対象に設計を実施しています。

支持杭の先端は、支持層である Ds3 層へ 2m 以上根入れするように設定しています。